受益者の皆様へ

平成 29 年 1 月 26 日
野村アセットマネジメント株式会社

「第 1 回～第 12 回 公社債投資信託」の運用状況について

謹啓　時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社運用の投資信託「第 1 回～第 12 回　公社債投資信託」（以下、「公社債投資信託」）の運用状況および今後の運用についてご案内申し上げます。

■　「公社債投資信託」の運用状況について

2016 年 1 月の日本銀行の金融政策決定会合における「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入決定以降、1 年国債金利は急速に低下しマイナス金利の幅を深めました。「公社債投資信託」の主要な投資対象市場である円建て公社債の市場金利も低下し、1 年国債金利だけでなく、主要な投資対象有価証券はマイナス金利となり、またコールローン等短期金融商品もマイナス金利となりました。

「第 10 回 公社債投資信託」は、流動性の確保、分散投資の観点などからマイナス利回りの有価証券にも投資を行なっており、コールローンなど他の投資対象資産のマイナス金利と合わせた全体の損益が、マイナスとなっております。これにより「第 10 回 公社債投資信託」の基準価額が、2017 年 1 月 26 日、9,999 円（前日比▲1 円）となりました。

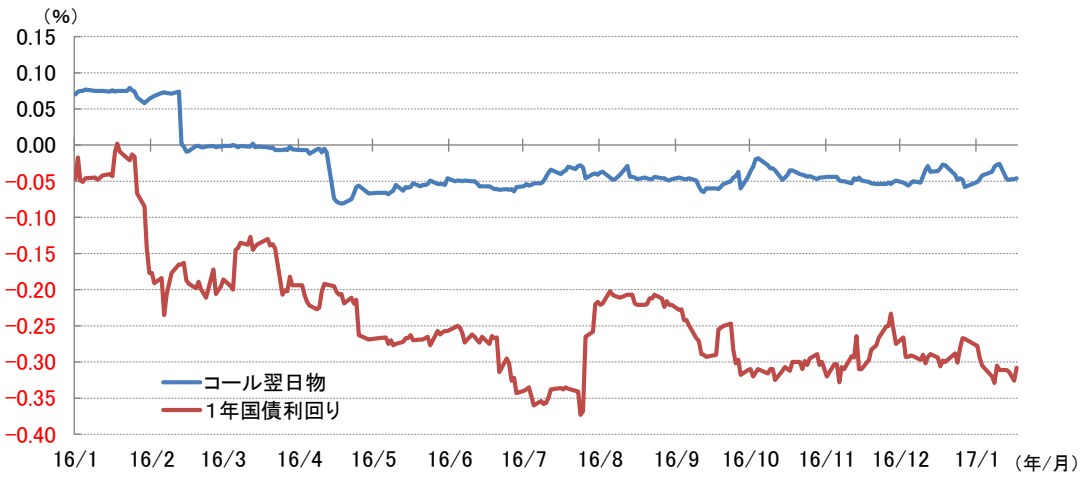
■　今後の運用について

日本銀行による「マイナス金利政策」が継続されており、「公社債投資信託」の主要な投資対象市場である円建ての公社債の市場金利はマイナス金利が継続しています。

「公社債投資信託」は、流動性の確保、分散投資の観点などからマイナス利回りの有価証券にも投資を行なう方針であり、コールローンなど他の投資対象資産と合わせた全体の損益もマイナスとなる場合、基準価額の下落が想定されます。今後「第 10 回　公社債投資信託」も含めたすべての「公社債投資信託」の基準価額が下落することが想定されますので、受益者の皆様におかれましてはご留意くださいますようお願い申し上げます。

なお、「第 4 回 公社債投資信託」第 56 期（平成 28 年 4 月 20 日～平成 29 年 4 月 19 日）以降募集を行なう「公社債投資信託」の目標分配額は当面の間、1 万口あたり 0 円程度としております。

≪日本の短期金利の推移(期間:2016 年1月 4 日～2017 年 1 月 20 日、日次)≫



(出所)ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

――― 上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。 ―――

≪(ご参考)「第 1 回～第 12 回 公社債投資信託」の基準価額 2017 年 1 月 26 日現在≫

	基準価額	基準価額が 10,000 円を下回った日付
第 1 回 公社債投資信託	10,000 円	―
第 2 回 公社債投資信託	10,003 円	―
第 3 回 公社債投資信託	10,004 円	―
第 4 回 公社債投資信託	10,003 円	―
第 5 回 公社債投資信託	10,002 円	―
第 6 回 公社債投資信託	10,001 円	―
第 7 回 公社債投資信託	10,000 円	―
第 8 回 公社債投資信託	9,999 円	2017 年 1 月 12 日
第 9 回 公社債投資信託	9,999 円	2017 年 1 月 18 日
第 10 回 公社債投資信託	9,999 円	2017 年 1 月 26 日
第 11 回 公社債投資信託	10,000 円	―
第 12 回 公社債投資信託	10,000 円	―

――― 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ―――

皆様のご信頼にお応えできますよう引き続き努力してまいる所存でございます。何卒ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

謹白